令和4年度 自己評価

1学期				2学期	щ	3学期			
KEEP	PROBLEM	TRY	KEEP	PROBLEM	TRY	KEEP	PROBLEM	TRY	
の後にピアノに合わせて、行 進したり、飛んだり、キラキラ したり、短い時間で集中力が ついたら良いなと思い取り組 んだ ・布団を自分で敷く お昼寝 を嫌がる子が少なかった	・残飯が多い 食の細い子が 多いので、2学期からはもう 少し、おかず野菜が、食べれ る様にしていきたい。	・運動会のお稽古を遊びの中 に取り入れていきたい ・食に興味が持てる様に、絵 本など読んでいきたい	・トイレトレーニングがあと2 人です。良いタイミングでみん なとることが出来た。 ・朝の挨拶の時に、質問をす る。恥ずかしがる子もいる が、思っていることを言えて いる。	りが上手くいかないなど、トラブルが増えている。 ・ひとつひとつ、お話ししながら、一緒に解決できるように取り組んできた。 ・場所で揉める時は、どこに座りたいか聞いて 指定席にするなど、策を講じてきた。	理のないように進めていきたい。みんなが歌える曲が良い。楽しく取り組む。・お話しを集中して聞けるように、新しい手遊びを取り入れたり、小さい声で話してみたり、ロパクをしてみたりは「つけつしながらも、話を聞けているので良し。	器で演奏しました。自分で作った楽器を大切にして演奏する姿が見られた。張り切って演奏できた。・・1学期から線の上を曲に合わせて歩く遊びをしていたので練習しなくても自然に出来た。・・気候の良い日は、なるべくお外でたくさん遊ぶように心掛けできた。(みんな体力が有り余っている為)体力作りも兼ねて。	・食の細い子が多い為、給食の進め方が難しかった。	・次はまた、月齢の低いクラス にもどる予定なので、ゆっく りペースで生活中心で保育を 進めていきたい。	
ども達に私自身担任の存在に 安心してもらえるよう子ども	少しずつ笑顔で遊べるように なってきたが、お友達との交 流の楽しさも知ってもらえる よう私も一緒に関わりながら 伝えていきたい	しい子も楽しめるように引き 続き声かけやスキンシップ、	子ども同士が成長していく中で私が前で引っ張るのではなくて全体的に後ろから見守りながら必要な環境づくり(オモチャの提供、困っていそうな時の助言、)をすることで自然に横のつながりが広がっていくことができた。	人。やり方を変えてはいるが まだまだ到達できない。3学	子ども同士の輪が広がってきている中でみんなで遊べる ゲーム遊びを取り入れて、楽 しく午後からの保育も充実させたい	常に担任も入り遊びを取り入れることで園生活(初めての集団生活)が楽しいと感じてもらえた		支援の必要な子に対する言葉 掛けや対応策を学び実践して いく	
7名でスタートしたクラスは、月齢差もありた。日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、	に、保育士が仲介していく	となり、人数が増えたので少人数では出来なかった簡単なゲームや遊びなど楽しく盛り上がる事がしたいです。	は、M先生が主となり保育を進めてもらい、今学期は補助の立場で関わってきました。と同様のあるくっきまった。というの幅に差を感じます。こでは、いまなきでは、いまなきでは、いまなきでは、いまなさなでは、では、は、というでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	遊べるように計らう	最近になって、友達を認識し始めて一緒に遊んだり話したりするようになったので、クラスで1つの事を(ゲーム、遊び)行うのはまだ時間がかかりそうです。3学期になればもっと言葉が増えて意思疎遠もスムーズになり、個から集団へ変化が見られると思います。それまでは保育士として寄り添い見守っていきたいです。	の後、くっきー組が落ち着き 始め合同で保育をするように なり、ぷりんの子もロ々刺激 を受けながら過ごす中で、ま す。少しの間でしたが色りれま す。少しの間でしたが色が高いでは個々に成長が見られま す。少しの間でしたが色が高いでは、子ども21名に大人4人人 と人体制の方が行きは、子ども10名に大届き 落ち着ということ。 豊との状態に応じてを進めてい ともの状態に応じてを進めてい に環境を整え保育を進めてい く事が重要だと思います	自がやる気を持てるようにしっかり声をかけていきます。	生達とたくさん関わって楽しく過ごせるように工夫していきます 皆、活動が活発になり自己主張がしっかりしてきました。小さなトラブルが絶えません。 怪我のないよう見守りつつ安全な保育を心がけます	
が好きな子が多く、 YouTubeで、色々な音楽を 流しています。とても、ノリが 良く、とても楽しんでいるの	部屋を、走り回る子が多く、 注意をしても、 注意をしても、 つかったり滑ったりしないよう、なぜ走るといけないか を、きちんと理解できるよう に、促していきたいとおもう。	一学期ほぼオムツで過ごしました。お昼寝後数人トイレへ、いってしてみようと!声かけました。二学期は、全員トイレへ行ってみよう!作戦を取りたいと思う。	かく話しかけて、言葉が少し でも真似をしたりでも出るようになればいいなと思い続け ました。 トイトレもできそうな子からやり始めました。 ぷりんぐみ特有の二学期後半	できないので、自然に歌えるようになっていけたらと思います。	。 3学期より午睡もなくなり遊 が時間が増えます。設定時間 が増えるので色々なゲームな ども交えたり、制作、簡単な 折り紙などもしたり、色々遊 びを考えてしてみたいと思い ます。	トイトレを個人的成長に合わせて始めたことが、よかったとおもう。2、3人ずついけそ	部屋を走ることが多く、声を変えても、聞けない子供がいて、方法を変えなければと思う	絵の具遊び、スタンプなども う少し取り入れようと思う。	

	1学期			2学期		3学期			
KEEP	PROBLEM	TRY	KEEP PROBLEM		TRY	KEEP PROBLEM		TRY	
・1学期は、人数が少なく、一 人一人をゆっくり見 る事が出来、トイレトレーニ ングもスムーズに 入れた。 ・まだまだ出来ない事の方が 多いが、出来た事を 凄くほめた。そうする事で自 信になって、出来 なかった事が出来た時に言 いに来るようになっ た。	・月齢の違いを痛感した。また、個人差も大きく た、個人差も大きく 理解力も様々なので、一人 一人の「出来た!」の 差が大きい。	年だと思うので、楽 しい事を沢山知ってほしい。 まだ、不安で泣い てしまう子が何人かいるの	・話をしている人の目を見ると言う事を常に言葉かけてきた。集中して欲しい時、大切な話の時など、少しずつだが、集中出来るようになってきた。	 一人一人の自己主張が強く、泣いてでも自分の思いを通そうとする子が多くなった。 譲り合う事も苦手な子が多く、色々な場面で揉めごとが増えた。 	・何かを始めようとしても、誰かが泣いてしまうと、他の子の集中が途切れたり、泣いている本人も参加出来なくなるので、泣かないで思いを伝えられるよう、常に言葉がけ、伝えられたら泣いていても頑張った事をほめる。	時の目安として、時計に目印 をつけて、それを目標にする と言う話を聞き、やってみる	しても、家ではオムツの子が 多く、せっかく、パンツに慣れ てきても、長期の休みになる とオムツに戻る子もいたの	・自分の思いを通そうとして、 泣く子が多いクラスだったが、成長と共に、自分の言葉で少しずつ相手に伝える事ができるようになって来たのもあって、泣くことも少なくなった。泣かないで、思いを伝えるよう常に言葉をかけてきたこともあって、泣いている子になんで泣いてるのか聞く子どもの姿も見られるようになった。	
声かけや、一つずつ細かく伝えることで集中して話を聞く時間が長くなった。また、次することをホワイトボードに貼って表したりして、自分達自身で確認しながら行動できている。	〇している」と伝えにきてく れてるのもいいが、保育者を 交えず、自分達で伝えられる ようになって欲しい。	どこういうときはこうやって 声かけをするんだよと伝え、 自分達で解決ができるように 少しでもなれるようにする。	一度伝えて、次に何をするの か理解している子もいれば、 まだ難しい子もいるので何度 も質問をしながらみんなで考 え直しているので今後も継続 していきたい。1日のお約束 を身近なものにすること。	で周りと遅れていることを気 づき、少しでも「急がないと」 という気持ちが持てるように	てくることが多い。	にはこれを頑張ろうなどと、 目標を持って取り組むことが	とが難しく、「年中さんになったらお話を聞いていないと困	次クラスに向けての関わり。	
●うまくいったこと ・入学当初からロッカーへの なおしかた(お道具箱の名前 が見えるようになおす、粘土 板は自由画帳の上など)をも 底して声掛けすることで意識し てたちがなおすときにで意識し でただ怒るだけでなく、次はど うしたらいいのかまで一緒に 考えることで同じことをしな くなった ●継続したいこと ・毎日笑顔で接することを忘れない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・時間に余裕がなくなり、子ど もたちを急かしてしまう時が あった。 ・	れて、やりたい!と思うことを実現したい。	間を作ること。 集中してほしい活動の前に遊ぶことで発散され、集中しやすくなった。 作品展の活動前や合奏の活動前にこれをすると効果的だった。	個々の個性を認められていない。 合奏でもそうですが、やはり出来ない子が目立ってしまい、その子たちを出来る子に追い付かせるためにはどうて追い付かせるためにはどうてしまってます。まだ年少で団体行動もできはじめているところなので、個性を認め、これもありかなと思えるようにしないといけないなとおもいます。	Aコースと関わる機会が少ないので増やしたいなとおもいます。	ならないよう、発散できる時間を作った。お稽古お稽古!	最初の方の舞台練習は緊張 もあってか、きっちりできて いたのに、お稽古に慣れてき たのかダラけてしまうことが あった。	acコースの関わりをもっと増やしたいと書いていたとおもうのですが、3学期になって、aコースの時間に合わせてお外に行ってみたりすると2歳さんとも時間が被ったりしていろいろなお友達と関われたかなと思います。	
持って活動に取り組めるいようして活動に取り組めるいようしては、	同士のトラブルである。ただ その半分以上が勘違いであっ てそんなつもりじゃないんだ けどな、、と思う事が多い。理 由を伝えても納得できない子 もいてる。クラス全体にこれ は、押す?当たってしまう。 どっちかわかる?と確認した ら、理解はできているのです が(一部除く)いざそうなた 時に、突発的に「おさされた!」 と怒っている子がいるので、 にの問題点は常に伝えていく 事が大切だも思うので、 して分かりやすいように伝るの にわざと大きな声で気づかせ るそれが、担任へのアピール	素敵だなと感じた。 課題は、お友だちの悪いと ころではなく良いところを見 つける!お友だちの良いとこ ろをみて、吸収してそれを周 りに伝えられる。そんなクラス 作りをしていきたい。	で子どもたちがどうしたら積極的に絵画に対して取り組める考えて、みんなる食べ物を見たり親しみのある食べ物を題材にしたりした事で、組り担任いたと感じました。1 番は担任が楽しんで保育する! 事でいるので継続して光ともので保育したい! マ楽しもので保育したい! マ楽しも	い、 〇子ども個人の課題としては、自分の気持ちを制御しつつ相手の気持ちも考えられるようになる事。(一学期よりだいができるようになっていて近いてパニックになる事なく感動です、、) ○言葉で相手に思っていることを伝える力	いってコンテは難しいと言われていたけれど、コンテ画に挑戦できてよかったと思った、自分のやってみたい!絵画をする方が導入もその後の色塗りも全部子どもたちと楽しめると改めて感じれました。 三学期には、次の年中に向けて頑張れる事、物事を話し合う力遊びを工夫して提供し	ん、大縄などをすることに よって、子どもたちの意欲が。 さらに伸びたと感じました。 といてみども達は見たがは そこに年長さんが達は見た をしてみがしました。 といてみがでで嬉しく思いました。 はいました。これからも遊びを 通した。これからも遊びを 通した。 はなりがでなくがまだち時のになって がかでなくがあただち段からながまてあげる。 と順番にしているのをみりながまた。 にいているのをありながまた。 を言って番にしているのをありながまた。 マイナスな言葉を言う子が		ていたことは、子どもたちがいろんな子と関われるように戸外遊び(色鬼、だるまさん、大縄、チケットづくり)などを通して、実現できてよかったと思います。 課題の解決策として、年少の三学期になると徐々に相手の気が増えるようになってきたなと感じる	

1学期			2学期			3学期			
KEEP	PROBLEM	TRY	KEEP	PROBLEM	TRY	KEEP	PROBLEM	TRY	
手伝いを頼むことで、クラス	困っていても言いに来れない 子どもがまだ数人見られるた め、その子どもたちへの促し 方や、伝え方	てことなどを言いに来れるようにする。言葉がまだ出ない 子どもが数名見られるため、 その子どもたちへ積極的に声 を掛け、話したりしながら、少 しずつ言葉が出るようにして いきたい。	必然的に子どもたちも言うようになった、子ども同士でも声をかけ合うようになったこと	行動が遅い、ゆっくり、マイ ベースな子どもへの促し方	ども一度しか出来ないので、 集中力を付けられるような工 夫、方法を考えていきたい	マイペースな子ども(置いていかれたら自分が困ってしまうと認識している子ども)への促し方は二学期までにないかるとよくなっただただはないかと思います。ただただかれるよとではなく、置いていかれるよとではなく、置いていかれると理由を付けたり、誰がどりしたので、困りたくないから少し急で、周りと合うさんという考えが持てる子どもがなと思います。	給食に対する促し方や進め方	後退していたことが、その子に届く言葉が見つかり始めた為、また少しずつ前進し始めましたが、まだ食へ興味がきちんと行かず、遊び食べをすることが多い、興味を向けられるような、なぜ食べなければいけないかなどを話しながら、楽しく自主的に声掛けがなくても遊び食べせずに、良べられるようにしていくためにどのようにするかなくあなくでもあびきかなと感じます。	
クラスとクラス発表のとき聞いて、初めての懇談の時も保いま者の方から人見知りや親以外の大人の聞いた子どもが多くて、遊んでいるとに子どもはの関わり方(おしりべんといきとうとといき践するとと子どもたちの方はしいまして、いまなりと思いまますと思いまます。	いて私やお友だちのお手伝いをしてくれるお友だちがたくさんいるのはとてもいいことだが、逆に迷惑になっている場合があったり嫌な気持ちにさせてしまっていたりと言うことがあること。嫌なことや気に入らなかったことがあると口で伝えるのではなく急に大きな声で叫び出したり、周りのお友だちもそれにつられて叫び出すところ。	てあげられること。 作ったりするのが好きな子が 多いので折り紙やハガミなど をあらかじめ用意していて子 どもたちが好きなものを作れ る時間を作りたい。	ム遊びを取り入れたこと ・ゲーム(椅子取りゲームな ど)をしたことで子どもたち から意見を行けるようになっ た	という時に発揮できにくい ・周りのお友だちに影響され やすい子が多い	奏や劇練習は飽きないように 子どもたちのペースに合わせ て取り組んでいきたいです。	・生活発表会をきっかけに時間があってできる時は音楽を流して子どもたちの好きなように踊ったり、みんなが知ってる振り付けのダンスはみん	ゆっくりしている子を待てない時があって、その子のことを「おそい」とチクチク言葉を言ってしまう時がある。	いので、ダンスの中で楽器も 持ってもっとリズムを取って 楽しくできたらいいなと思い	

1学期				2学期			3学期		
KEEP	PROBLEM	TRY	KEEP	PROBLEM	TRY	KEEP	PROBLEM	TRY	
お話を始める前の合図があると、姿勢を正して目を見てからしか返答できないという約束を繰り返し伝えたことで、その合図で気持ちを切り、甘替えられるようになお話を聞けるようになったので、2学期も続けたいと思います。	・園児との関係構築 ・幼稚園と家庭の連携 ・女の子同士の言葉のトラブ ル	・愛着障がいについて勉強する。 ・懇田先生と保護者となった。 ・懇歌をしたことなった。 ・懇歌をしたことなった。 ・懇歌をしたことなり、 家庭の連携の大切さた幼稚園のて感様子を聞きた伝えた際ない。 たいったはかった。 での様子を聞きたので、ついまがよりが、 での現状をきちさい。 での現状をきちちらが、 での現状をきちちらが、 での現状をきちちがらならないでのでの現状をきちちがらならないでのでの現状をきちちがらならないでのでの現状をきない。 でのでの現状をきながらならないで、 での現状をきない。 での現状をきない。 、関いないで、 での現状をきないで、 での現状をきないないで、 での現状をきないないで、 での現状をきないないで、 での現状をきないないで、 での現状をきないないで、 での現状をきないないで、 での現状をきないないで、 での現状をきないないで、 での現状をいている。 は頑張り中にいて、 に変者といて、 に変者といて、 に変者といる。 にないて、 にないていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	・子どもたちだけで考えなが ら活動する機会を設けたこと (チームごとで)	自分のことだけでなく周りの 環境やお友だちに目を向けら れるようになった分、言葉を受け止めることの大切 言葉を受け止めることの大切 さを伝えられていなかったか なと感じました。	お友だちの気持ちに自ら気づくこと、お友だちの言葉を受け止めること、の方法や大切さを子どもたちに分かりやすく伝える。	一人ひとりの意見を聞きながたりにいる。 し合いをする場を設意見 ら話と。手を挙げて自分の意見を を言えなかったお友だちも、 全員発表する機会を発表しするると を育り分の意見を発表しているの意見を を表するのが表している。 を表するが増えました。	・言葉のトラブルが多かった すの子数名のお友だち: おけることである。 まなだち、過去のトラブルを見けることが表している。 まずりすぎなののとを引いましていると、できれている。 はいを関いすると、そのグリカのでは、 はいを見いなのでは、 はいをしていると、できなり、 はいでは、	昨年度子どもたちが考えた予定で1日過ごすお楽しみ日をして、とてもからたいで今年もやりたいなと思います。 去年と同じカリキュラムなはずなのに時間がなく、1日時間をとれるかな、、、という感じです。	
・「靴揃えてね」ではなく「ハートさんしてね」とめろん撮での呼びかけ方にすると、「ハートハート」と言って並べる様になったのでこれからも意識して声かけしたい・おたすけまん		たい 子どもたちの姿が一学期を通 して少しずつ分かったので、 声かけもその子がどうしたら	やることをホワイトボードに 書出すことによって流れを子 どもたちも掴むことが出来た ・給食の後の着替えなど予め この時間までに終わらせると みんなで話をしてから始める	言いに来ることはいいことだけど「〇〇くんが~してた!」と言いに来ることがいいと思っている子もいるので、ただ言いに来るのではなくお友	んだり話をしている時間はあるのか、どうすればより長く遊ぶことが出来るのかを考える時間を改めて作る	く作るようにした。 話し合ったからといって一個 の意見にまとまったわけでは ないけど、みんなで作ってる・ 考えてるという気持ちに繋が ればいいなと思った。	制作などで不安な気持ちが 多くて作業に取り掛かれな い。年長さんになったらまた 成長するとは思うが、年中の うちに少しでも不安を取り除 いて自信をつけてあげたい。 前回の告げ口みたいになって いる子達への声掛けはまだ		

1学期				2学期			3学期			
KEEP	PROBLEM	TRY	KEEP	PROBLEM	TRY	KEEP	PROBLEM	TRY		
年中さんということもあり、 お友だち関係と自分で考える ことを大切に、この一学期を 過ごして来ました。一人遊び からお友だちと関わる遊びが	もも組のお友だちにとって、 メリハリをつけることがすることがよりに感じます。自 、難しいように感じます。自 、動きがあった後に、朝の会な と静かに話を聞く時間が来る と、お話をしてしまう子がいこ たり、気持ちを切り替えることが出来ない子が多いことが とが出ます。また聞いと話を聞くのも苦手になると説明をあると説明をあるとまで、うで、	メリハリをつことに向けることに向けることに向けることに向けるたちらに向けるために、「拍手を○回を回集めまかが替えらいです。 大き楽しみな切り替えられたのとない。 大きない 大きな できない からい からい からい からい からい からい からい からい からい から	話し合う時間を多く作ったと考にとは上手くいったこととととときくいったことを作品展の他行いました。もいるいかで、おます。だいないがはいかが入りにいるいがないが入りにいるかが入りで、そいからにかなが入りにあったでで、ぞというできなることで、そいたったちでった。ちがをもいったったったったったったったったったったったったったったったったったったった	先程、上手くいったことでも 書いたのですが、もも組のお 友だちはやる気スイッチがな かなか入らないクラスなの	課題の解決策ですが、やはしり 子ど事としたがいまえるという。 もたちと話し合民にするという。 自分事といて物事ようではないですが、いますが出来ないであると思えるようでもいますが大くないですが、いますが大くないですが、できないですが、できないですが、でも入れていたのでは、とないでは、とないですが、でも入れているとなどが、というには、というは、というは、といいは、といいは、といいは、といいは、といいは、といい	三学期、一番上手くいったと 感じたのは発表会です。この は発表会でする。この は発表会でする。この に間、請ななこ意見で表さい。 たちってきたこかでまたのです。 たちってきたこの やでする。 に間、話なが来を保護者の でもなってもなりにある。 をのでもなれば近り劇の内なこ をのでもなればかり、 ものものでは、 ものものでは、 をのことをを保証を をのことをを でもなり、いいるとのでは、 をのことをを でもなり、いいるとのでは、 でもなり、いいるとのでは、 でもなり、いいるといるといる。 でもなり、いいるといるといる。 でもなり、いいるといるといる。 できないる。 できないる。 できないる。 でもないるとないる。 できない。 できないる。 できなななななななななななな。 できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	やはり活動の目がなります。 では、ままない。 では、まないい。 では、まないいい。 では、まないいい。 では、まないいい。 では、まないいい。 では、まないい。 では、まないい。 では、まないい。 では、まないい。 では、まないい。 では、まないい。 では、まないい。 では、まないい。 では、まないない。 では、まないない。 では、まないない。 では、まないないないないないないないないないないないないないないなないないないないな	子どもたちの意見を取り入れたり、話し合う機会を持つことは、学自分の思っているでもなことも、学自の思っているでもなっているで情を素直に表現で主きない。といるでは、学年を表現でいきたと思いまから一年度、三学期に入って、近外の提案が増えたことで、デリエーションがした。それをな道、アルーのといるでは、来年をなる道、中で、では、来年用意の時間については、来年用意の時間については、来年		
初めは割とおとないクラ スだと感じ、反応すごとのですが、 、温度差がすごとのですが、方向にすですが、 、当なをあっていって、 、当ないのでですが、 、自にはできるといったりにいった。 、少しなってとがあいました。 、少しなってとがあいました。 、少しないにいっぱいといった。 、少しないことがはいというはいからいでできるといった。 、一できるス全ないできるとはいいが、 、できるといれな自りませらいでは、 、またをいれな自りませらいでは、 、またをいれな自りませらいでは、 、またをいれな自りませらいでは、 、またをいれな自りませらいでは、 、またをいれな自りませらい。 、またをいれな自り、 、では、 、では、 、では、 、では、 、では、 、では、 、では、 、で	要配慮児への関わり方の難しさを感じています。生活のリズムに慣れて来たからこその「やりたくない」が増えてきている様子が見られ、「やれば出来るのにやらない」という行動に対して、どう関われば良いか悩んでいます。	運動会の練習に入るので、みんなの意見を聞き、団結しながら取り組みたい	作品展の準備→今までの四年間で1番子どもたちの意見を尊重しながら、私も楽しみながら進めることができまし	言葉が達者になり思考がいる	に気づくことができるように し、ひとつひとつの時間や出	・生活発表会・・・毎回のおけいこを次につなげるように終わらせるようにしたがんばりシールでやる気上昇・・子どもたちの観察、対応・・・	それより箇条書きでもその子の特徴を学期ごとに簡単にまとめたものを引き継いだ方が次の先生も自分自身も復習しやすいなと思う	problem同樣		

1学期				2学期		3学期			
KEEP	PROBLEM	TRY	KEEP PROBLEM		TRY	KEEP PROBLEM		TRY	
公開保育で学んだことをインブットするだけでなく、子どもたちに、アウトブットすることができた。具体的に水遊びでは、赤、青、黄色から多くの色を作り出し、カップに並べて虹をつくっていたり、子供の可能性に驚きました。	積極性がまだ少ないと感じる ので、子どもたちの「やりた い」を引き出せるような声か けや保育を心がけたい。	子どもたいの「やりたい」を引き出りながらも、自分の中で「出りしながらも、自分の中で「出うけなら」と、後悔がないように引き続き子どもたちと向き合って保育したいです。	・決め事をするときに、私が ・決め事をするときに、私が を選ぶのではなく、子どもたち同に向けてに時間としたりにできるように ・小学校にでは、常きるように で話したがで、子どもたち同に向いて、学されられる。 にはいるできるように にないできるように にないできるように にないできるともたちに にないできるともたちに にないできるときを になったとうでできた。	・みんなで話し合いをしてね と言うと、じゃんけんになる ことが多い ・意見を言う子が固定され、 保育者から尋ねてないと言え ない子はいつも言えない状況 が多い。	・やった遊びは自分の引き出 しとして、繰り返すことが多 いが、自らの遊びの発見や発 展が少ないので、自ら発展で きるような声かけをする。	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・子どもたちのやりたい気持ちを尊重はしたいが、できなりたいが、できなりたいが、できないこと「みんなでユニパに行きたい」や、難しいと感じました。との時は、じゃー「大人になったら行こう」「さくら組?お遊戯室までを使ってしよう」など声をかけたが、納得はいっていないようだった。・やりたいことの主張を聞き入れるのと、わがままを聞くの違いを子どもに伝えること。	・去年できなかったこと、子どもにしてあげたかったことを を、この1年全部できたので やりきった気持ちでいます。 ・またいつか、他の保育現場 に行ったときに経験を生かし ながら、違うところでの新し い保育を吸収したいです。	
識も変わりトイレのスリッパを 複数の子が並べるようになっ	い。すぐにお喋りをして静か にできないところが課題。毎 日声かけしたり、前に担任が 立った時に静かにするお約束 をしても難しい。○??の旗を	作り。運動会に向けてリレー の特訓。 課題や問題点の解決策は見 つかっていません。試行錯誤	運動会当日に子どものやる気をもっていけたこと。周りを見て何をすべき時か判断できる子が少し増えたこと。	い言葉を言う子が増えてきた。		で、嫌な言葉を口にする子が 減った。「そんな事言ったらダ メだよ」と言える子が1人でも	発したりしてしまう子がいる こと		
には負けて悔しいなど、何か をしたときに子供の気持ちを 受け止めるだけじゃなくて私 の気持ちを伝えると、子ども	り、お家であの子が嫌とお話 ししている子どもがいるので そういったことの関わり方の	ので全員が本気で取り組める	行事に向かって頑張る力	多い。	バルを見つけることでやる気がより出ると思うので、やる気を引き出しながら楽しく	ように、スイッチを押してねと 体の部分を押すようにした り、どうしてこの活動に取り 組んでいるのかを意味を伝え	お友だちが多かったので、素早く行動するということが問題点でもあり課題点でもあったなとおもいます。	行動するよう声をかけたり、	

1学期				2学期	3学期			
KEEP	PROBLEM	TRY	KFFP	PROBLEM	TRY	KFFP	PROBLEM	TRY
くれるのは嬉しいが最後まで間くことを覚えてほしく、話終わった後に「何か質問ある?気になることある?」と聞くようにしている。そうすると色んな質問出てきて、	言いにくることがある。 ・子供同士仲がいいのに遊び の度が超え、怪我してしまっ たり、よかれと思って注意し 合うのが相手からしたらきつ く不快に思ったりと相手のた	い仁の持ってる人」を発表したらゆっくりとだが何かをしようと思える子どもも多くなった。	を持つが子どもたちの心にす ごく響いていてその心を大切 にしたい。 ・前回の振り返りで質問を聞 くようにしている点は継続し たい。話がより深まるのでス	・小さいトラブル(子どもからしたら大きいトラブル)を言いにくることがある。許してあげたらいいのにって思うながありお互い納得する解策が難しい。 ・毎回話し終わった後に必ずと言っていいほどわからないとこ聞きにくる子がいてるので、どうやって注目させるか考え中。遊んでいて着替えないとか時間を言ってもやらえ中	歌を考えて楽しく練習を進め	・劇みんなで振り付けなど考えていってクラスのみんなと 団結して楽しくやり遂げることが出来た。 ・答えを出すのではなく子供 たちに考えれる雰囲気を作る こと。	は聞くが毎回後で質問する子がいてる。 ・子ども同士のトラブル、お互い言ってることがわかるが納 得出来るような声掛け。	・子ども同士のトラブルがあ る時お互いが納得するように
	るとデスクワークをする時間 が取れない日が多くあったの で、効率よく仕事ができるよ うなシフトを組まないと…と 思います。 ・月案を試行錯誤しながら進 めています。 先生方にとって大事な事、語 り合ってもらいたい事をピッ クアップして、掘り下げられる 議題を提案できたら良いなと	・どんなおもちゃが楽しいだろう、と考える時間も取れずに1学期が終わってしまコートごっこのように自分たちで作った物で長う遊べる。繋がりのある保育は素晴らちゃも増やしたいと思いますが、手作りの物も考えたいです。・・絵本が多すぎて汚すぎを整理体みに全クラス本棚の整理		わっていると、 <mark>各クラスでの</mark> 差を感じることがあり、基礎 の部分や導入の仕方をじっく り話し合ってから進めていけ	事が沢山含まれているから続けて行ってきた事だと思うのですが、縦の繋がりがもっと意識できるようなカリキュラムの構成を考え直していきたいと思います。 昨年やっていたから、絶対しないといけない!ではなく、来年に向けて今の学年ではこ	日頃から子どもたちと話し 合ったり、物事を決めたりす る過程を大切にしているクラ スが多く見られます。3学期 はクラスの絆がぐっと深まっ ているように感じられて、補助に入る度に成長を感じられ ます。 ・先生主体で色々決めていた 事を、子ども主体で考える意 識が先生方についてきている	・淡野先生が先生方に絵本の 読み聞かせの大切さ(集中力 アップ)を伝えてくださってい ましたが日頃のクラスの本の 収納・管理が行き届いていな いように感じます。 子どもたちに読んであげた い!と思う本を揃えるところ から…でしょうか。早急の課	ディアが出て、実践できる機 会を多く作れる体制にしたい